

世界の恵まれない子供達に学ぶ機会を！ 学ぶ喜びを！

SCOLA

Vol 16

認定 NPO 法人

LS スコラ育英基金

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-28-13-101

☎:090-5411-8424

メール : scola@ls-scola.jp ホームページ : <https://ls-scola.jp/>

郵便振替番号 : 00100-0-767496 特定非営利活動法人 LS スコラ育英基金

〈互いに愛し合いましょう〉

新年あけましておめでとうございます。この一年間ご支援をいただきました皆様方に、厚く御礼申し上げます。

昨年は、能登半島の大地震で年が明け、さらに世界規模での温暖化とエルニーニョ現象の影響により、世界各地で大洪水、干ばつ、森林火災が発生し、多くの尊い人命が失われました。加えて、ウクライナやイスラエルとハマスの紛争は、解決の糸口を見いだせないまま越年しました。

「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。」(新約聖書ヨハネの手紙一 4 章 7 節) これは、クリスマスの時期良く読まれる聖書箇所の一つですが、「愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれた者であり、神を知っているからです。」と続きます。勝手な解釈とのお叱りを恐れずに言えば、神はいかなる宗教の神であってもよいのではないのでしょうか、その神を無視する人間の傲慢さ、罪深さが紛争や貧困、地球温暖化を招いているのではないのでしょうか。そしてその被害に遭うのはたいてい弱い立場の人たち、特に子供たちだということを忘れてはいけません。新しい年こそ、互いに相手の立場に共感し、互いに愛し合うことのできる平和な社会の実現を切に願います。そして、私たちは今何を為すべきなのか、皆様からいただいたご寄付をどう支援に活かしていこうか考えながら、来年度の事業計画を立案したいと思います。

昨年 10 月、当基金の事務局長黒木秀敏さんがお亡くなりになりました。当基金のスタート当初から、子供の貧困問題に情熱を傾けられ、仙台ラ・サール・ホームを卒園して大学等に進学した学生たちに対する奨学金制度を提唱されたのも、黒木さんでした。個人的には、鹿児島・函館の違いはあっても、同期として一緒に活動してきた同志であり、友人であり、あっけないお別れは無念の極みであります。しかしながら、いつまでもその悲しみに打ちひしがれてはいけなさと自分を奮い立たせながら、これからも活動を続けていかなければと思っています。

私たちの活動も NPO 法人化してから、今年で 17 年目、前身から通算すると 23 年目に入りますが、毎回申し上げているとおり、当法人を支援してくださっている方々の高齢化が進み、年々資金集めには工夫が必要となっていることに加え、活動の担い手も高齢化が進んでおります。当基金の活動にご関心がある方、継承していただける方々を求めています。そうした中、私たちの活動をより多くの方に知っていただくべく、昨年 2 月から広報媒体の多様化に合わせて、動画 (YouTube) による配信を始めております。昨年は 3 回発信しましたが、従来の広報誌「SCOLA」やホームページと合わせて多くの方々に視聴していただき、感想やご意見を賜りますように、引続き、皆様方のご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。皆様にとって、希望にあふれた 2025 年となりますようにお祈りいたします。 (理事長 宇野哲人)

＜令和6年度に実施した支援事業＞

1. 仙台ラ・サール・ホーム出身者の大学等進学者に対する奨学金

- 継続事業として、学生4名に対し、上期24万円・下期24万円（各期6万円/人）の奨学金を支給済みです。
- 奨学生Aさんからの便りを紹介します。
 - 3年間にわたりご支援をいただき誠にありがとうございました。実習が4カ月続き、精神実習ではホテルに宿泊しながら生活しております。今回いただいたものは、ホテル代や実習中の生活費に使用させていただきます。就職先が決定し、看護師になるという夢が目前に近づいてきているように感じています。12月まで実習が続き。その後来年2月中旬には看護師国家試験があります。実習に励みながらも勉強を両立できるように今後も精進します。

2. ケニア聖ラ・サール・カレメノ校に対する支援

- ケニアの農業地帯にある4年制の職業訓練校カレメノ・スクールに対して今年度と来年度に分けて各1万ドルを支援するプロジェクトです。この学校は2016年に55人の生徒数でスタートし、現在は寮を備え200人以上の生徒が70人の教師のもと農業・電気に関する学習や近隣他校とも協力して音楽・体育にも力を入れています。敷地内には家庭科教室・電気技術教室のほか農場・温室・釣り堀まで備え実地訓練で経験を積んでいます。今年度は、農業訓練プログラムに対して約8,600ドル、電気技術研究室に対して約1,400ドルの支援を行ないました。前者は、耕運機・種まき機・草刈り機・穴掘り機・安全保護具の購入に使われ、後者は耐火電線やコント



ールパネルの購入に使われています。今年度、学校の農業プログラムが国家訓練基準に合致していると文部省の承認を得た一方、15人が電気配線3級免許を取得、1人は国内トップ技術者の栄誉を獲得しての卒業となりました。来年度は、若い女性指導者育成と教師の能力開発支援にも力を注ぐ計画となっています。

＜今後実施予定の支援事業＞

1. ふじのくに留学生ツアーに対する支援

- 海外からの留学生への支援事業並びに国際交流事業として、今年も3月はじめに実施される予定の「ふじのくに留学生ツアー」（募集定員15名）に対し、物価高騰に配慮してバス代の一部支援として昨年度比5万円増の15万円を支給する予定です（実施予定3月）。

<黒木秀敏さん追悼メッセージ>

We were absolutely shocked and deeply saddened to learn of passing of Mr.Hidetoshi Kuroki. Please accept our heartfelt condolences for your loss. His passing is a great loss to all of us who had the honor of working with him. We will remember him not only for his valuable contributions but also for the kindness and dedication he brought to all his endeavors. (中略) Once again, our deepest sympathies are we hope Mr.Kuroki's family finds comfort during this difficult time.
MS. Laura Ballerini (ラ・サール基金地域活動オフィサー)

(Google 訳) 黒木秀敏氏のご逝去を知り、大変驚き、そして深い悲しみを感じております。心よりお悔やみ申し上げます。彼の死は、彼と一緒に仕事をする光栄に浴した私たち全員にとって大きな損失です。私たちは彼の貴重な貢献だけでなく、あらゆる努力にもたらした優しさと献身も忘れないでしょう。(中略) 改めて、黒木さんのご家族がこの困難な時期に安らぎを得られるよう心よりお見舞い申し上げます。

彼は鹿児島ラ・サールの1期後輩ですが、2浪した僕は1浪の彼と早稲田で同期になりANA入社も同期ということになりました。入社後2人とも数年間羽田空港カウンター勤務をしましたが、班旅行の折など彼はギターを持参して盛り上げに活躍していました。その後、本社厚生課勤務やハンディを持つ方々の会社幹部を務め、2000年前後にはカリフォルニアの乗員訓練所勤務となって米国生活に慣れないパイロット訓練生の世話に明け暮れました。さらに、最近では横浜市の民生委員として地域老人の為の活動もしていました。

ラ・サール関係では2006年に同窓会東京支部会長に就任し、6年間の任期中「21世紀委員会」に設置された「育英基金委員会」を独立法人化し、函館ラ・サールOBも参加するようになりました。この「LSスコラ育英基金」では事務局長として活動し、2016年には認定NPO法人としての資格取得に寄与し、ご寄付をして頂ける方々が寄付金控除を受けられるようになりました。

どんな時にあっても彼の人生は「世のため人のため」でした。とても敵いませんが、少しでも彼に近づくよう頑張らないといけないと気持ちを引き締めるこの頃です。

L Sスコラ育英基金 副理事長 松崎潤一



2017年3月21日ラ・サール会 Br .Craig 来日時

黒木さんは、いつも海外支援先の状況を熱心に報告・解説されていました。わたしが「海外で、とある先輩と出会った」とメールを書いたときは、黒木さんも読んでニコニコしてくれると思っていました。あとから訃報を読んで、突然のこととてもショックです。もっと話がしたかったです。

拓殖大学大学院教授 (ドイツ留学中)
鹿児島ラ・サール 37期 山村延郎

2024年（1-12月）に寄付してくださったのは以下の方々でした（敬称略）

伊井和枝	池田博行	池田隆二郎	伊佐治寿彦	伊地知正光	伊東祐久	井上功	岩元修士
内田正隆	宇野哲人	海川敏雄	梅北正史	江口憲治	大川伸一	大坂恒悦	大迫徳郎
大谷欽哉	大原信司	岡田利雄	小田紘史	小田原良治	海江田博士	笠松秀樹	加藤英行
金蔵拓郎	金沢千秋	金丸秀樹	賀本敏行	川上博人	川原光徳	神原芳彦	菊地裕太郎
北川朗	北本達也	木下敏之	工藤元哉	隈部敏郎	倉津一壽	黒川明	黒木秀敏
高栢智彰	古賀信行	小坂彰洋	小城和正	小林寛重	紺野晃則	財津昭憲	酒井伸一郎
坂井毅	櫻井利雄	佐藤仁宣	佐藤正吉	佐藤英章	佐藤秀樹	鮫島由規則	重信和男
品田義雄	白土宏之	菅野剛造	杉村友信	鈴木正英	園田勝男	大尾敏博	高木鉄平
高木学	高橋智	田上桂作	竹田和義	武田敏文	田中俊博	田中宏明	谷山啓一
田原浩	玉木康博	津田俊二	出口亨	寺田道雄	徳勝礼子	鳥越重二	富山洋
中井洋	中江次郎	中川原譲	永田洋二	中富清和	中西徹明	中野伸也	中原善朗
中村勝洋	中村誠洋	中村知史	中村稔	成田昭浩	西立野研二	新田栄作	新田荘作
根本浩一郎	蜂須賀一寿	馬場俊英	浜崎和朗	原口和貴	針間博彦	春本常雄	姫野信吉
平川憲生	平澤博之	深江方次	福岡一郎	福田俊行	藤井晶衛	藤瀬裕司	藤津史朗
古川貴久	堀切尚	牧本三夫	松井謙明	松岡英亮	松崎潤一	松下洋一郎	松田孝
三浦聡雄	水間信寿	道岡伸一郎	満岡渉	宮下幸一朗	宮脇一郎	村野一郎	元木昭秀
本寺大志	本山嘉正	森荘太郎	森俊雅	矢野譲	山下達治	山田賢一朗	山村延郎
山元正博	吉井満寛	吉田昌之	吉永和久	米澤大	脇田立郎	和田豊郁	匿名希望 2名

☆匿名希望 2名の方を含め 145名の方からご寄付をいただきました



ラ・サール本部から届いたクリスマスカード



世界大会での黒木さん

<編集後記>

- ・事務局長を務められていた黒木さん（鹿 17）が昨年末にお亡くなりになりました。2011年にマニラで開かれたラ・サールの世界大会で日本の活動を紹介されていた姿が忘れられません。ご冥福をお祈りします。
- ・SCOLAの広報活動も、この機関誌とYouTubeでの動画配信を行っていますが、内容に関しては試行錯誤を繰り返しています。新しいアイデアなど、ぜひ感想をお聞かせください。
- ・また、掲載して欲しい記事などご意見がございましたら、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

（理事事務局長 紺野晃則） e-mail:scola@ls-scola.jp